

9/8 [金]

10:30-  
12:00

●会場

日本橋ライフサイエンスハブ  
A 会議室

東京都中央区日本橋室町 1-5-5  
室町ちばぎん三井ビルディング 8 階



Zoom ウェビナー  
ハイブリッド開催  
定員：会場参加 50 名  
オンライン参加 400 名

先着順  
参加無料

日本製薬工業協会 Aging Group ・ 日本医療政策機構（HGPI）共同シンポジウム

# 高齢化に伴う健康課題、 認知症とがん

～健康寿命をのばすための早期取り組みについて～



病気への備えや早期発見、専門家への  
相談、ともに生きる社会にむけて

日本は世界で最も高齢化率が高い国です。長寿国としてだけでなく、健康寿命の長さでも世界をリードしています。一方、高齢化の進展に伴い、世界的に非感染性の健康課題を抱える人が増えており、その中でも認知症とがんは、医療費・介護費、さらにインフォーマルケアコストといわれる家族などが無償で行う介護負担のインパクトが非常に大きいと報告されています。

今回、認知症とがんに焦点を当て、各分野の第一人者の先生方をお招きしたシンポジウムを開催いたします。本シンポジウムの開催が早期の気づき、専門家への相談や備えのきっかけづくりとなり、健康寿命延伸への一助となることを目指します。

# PROGRAM

※講演者の敬称略

10:30-10:35 ●オープニング

中川 祥子 日本製薬工業協会 常務理事

10:35-10:50 ●基調講演 1

「アルツハイマー病の疾患修飾治療法の実現に向けて」

岩坪 威 東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野 教授、国立精神・神経医療研究センター神経研究所 所長

10:50-11:05 ●基調講演 2

「高齢化におけるヘルスケアおよびがんへの取り組みの課題」

中釜 斉 国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長

11:05-12:00 ●パネルディスカッション

「認知症・がんの健康課題にどう向き合うか、早期の取り組みの重要性について」

パネリスト

岩坪 威 東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野 教授、国立精神・神経医療研究センター神経研究所 所長

中釜 斉 国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長

鎌田 松代 公益社団法人 認知症の人と家族の会 代表理事

モデレーター

栗田 駿一郎 日本医療政策機構 HGPI シニアマネージャー

※プログラムは予定であり、変更の可能性がございます。

## keynote speech



岩坪 威 先生



中釜 斉 先生

●主催：日本製薬工業協会（JPMA）

●後援：日本医療政策機構（HGPI）



●お申込み：Web サイトよりお申込みください <https://www.jpma.or.jp/globalhealth/event/aging.html>

●お問い合わせ：Healthy Aging シンポジウム事務局（オスカー・ジャパン株式会社 国際事業部）

e-mail: healthy-aging2023@oscar-japan.com

